＊2025 年度に履修登録された HJ39（手話入門）とは別科目になりますのでご注意ください
専門教育科目 | 演習科目

授業科目名	手話入門	科目コード	配当年次	単位
担当教員	谷　千春・北田　美千代	GA48	―	2

科目の概要

聴覚障害について、医学、教育、福祉、心理など様々な角度から掘り下げ、理解を深める。聴覚障害者とのコミュニケーション手段である、手話、指文字（濁音、半濁音、促音・拗音、長音）、読唇、筆談、空書、補聴器について学ぶ。手話の実技に関しては、おおむね手話技能検定試験５級程度（あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる）の単語と例文が理解できるところまでを目指す。

科目の到達目標

①聴覚障害のメカニズムや障害の等級、聴力レベルなどについて理解することができる。
②手話・指文字などを用いたコミュニケーションを実践することができる。

テキスト	『ゼロからわかる手話入門』谷 千春(監),主婦の友社,2011年 『はじめての手話』谷 千春,産業能率大学,2019年

テキストの読み方

①『ゼロからわかる手話入門』では、様々な手話のフレーズや単語を写真付きで確認することができる。単に読むだけではなく、繰り返し手話の動作をしてみること。また、付属の DVD でお手本の動きを確認することも重要である。
②『はじめての手話』では、手話や聴覚障害についての基礎知識を学ぶことができる。これらの基礎知識と手話のフレーズ・単語を有機的に結び付けることで、学習を深めて欲しい。

単位修得の方法

①リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。
または、
②スクーリングを受講し、合格すれば２単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。